

真盛園基本理念

1. 人間平等の原則の上で立つての福祉の増進
2. 宗教的雰囲気の中での心の安らぎ
3. 恵まれた自然環境の下での健康維持



ホームページ
QRコード

日頃より真盛園の事業に對しまして、ご利用者様はじめご家族様、地域の皆様と、多くの方々温かいご支援とご協力を賜り、お礼と感謝を申し上げます。

引き続き世界的に猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症は、未だ収束しない状況であり、これまでの生活様式が変じ、この生活様式が当たり前のようになつてまいりました。

こうした中、当社会福祉法人真盛園において新型コロナウイルスに感染する事案が発生し、利用者様やご家族様、関係各位の皆様方には大変なご迷惑とご心配をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

これまで保健所の指導のもと、ご利用者と職員にPCR検査を実施した結果、多数の陽性者を確認し、新型コロナウイルスが発生しました。新型コロナウイルスが確認されたから、感染拡大防止に對するべく、利用者の安全確保を最優先に考え、大津市保健所と連携を図り、ウイルスを持ち込まない為の最大限の対策として措置を行つておりましたが、感染拡大を抑えきれず、多数の利用者が感染し、通常通りのサービスが行き届かない場合も生じ、この間、ご利用者様、ご家族様には、ご不便をお掛け致しました。

全国的には新規感染者数は減少傾向にあり、社会経済活動も徐々に動き出す一方、介護事業の運営に關しては、多くの課題を抱えていることには変わりありません。介護サービス事業所・施設等に勤務する職員は、感染すると重症化するリスクが高い利用者様との接触を伴うこと、また継続して提供することが必要な業務であること、及び他の



寺崎豊好 常務理事
(総本山西教寺塔頭禪智坊住職)

ウィズコロナ時代に 心豊かな生活をめざして



介護施設・事業所での集団感染の発生状況を踏まえ、相当程度心身に負担がかかる中、強い使命感を持って、業務に従事しております。

施設内では、手洗い、消毒、マスクはもちろん、アクリル板・透明シートでの仕切り、職員もフェイスシールドなど防護具を着用し感染予防に努めています。またコロナ禍の中、単調になりがちな施設内の生活を少しでも、笑顔のある楽しいものにしたと職員は工夫を重ねています。

今後は、社会福祉法人真盛園として、感染予防に勤めながら、感染症対応研修を年間通じて職員に行い、また感染拡大時のゾーニング（危険・安全の空間分け）研修を各部署の責任者を中心に実施し、全事業所で感染防止対策の徹底を図り、万全を期して信頼回復に取り組みまいりますので、どうか皆様方のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて昨今の目まぐるしく移り変わる社会情勢の中で、多くの方が回避できぬ高齢化問題に、私達福祉の現場に携わる者は、常に大きな影響を受けています。

福祉制度の中心であった措置制度は平成12年度から介護保険という契約制度となり、近年は福祉施設の急増化・福祉サービスの多様化に伴い、選ばれる施設作りがこれからの福祉施設には必要とされています。

団塊の世代が75歳以上になる2025年には約30万人の介護従事者の不足が言われ、2040年には約70万人の介護従事者の不足が推計されております。

特に介護者の人材不足はここ数年の大きな課題であります。2020年の国勢調査によりますと経済活動を支える生産人口は、ピーク時より約14%も減少していることが明らかになりました。日本の経済活動全体が生産人口の減少を受け、経済成長の陰りが心配されるところであります。産業界では、労働者に代わるICTやAIなどの新技術の進展と普及が、社会に大きな影響を与えていますが、我々介護事業者にとりましては簡単に代わられるものではありません。我々が自ら心して処遇の改善に取り組むことの

必要性を痛感しています。

真盛園は、今後も創意工夫をして特色のある施設作りを目指し、ご入居者・ご家族様にご満足いただける施設として、地域老人福祉の拠点として貢献して参りたいと考えております。常にご入居者が笑顔でお過ごしいただき、思いやりと助け合いの心、人と人との絆を大切に、職員丸となつてより質の高いサービス提供を目指し、邁進してまいります。

今年も新型コロナウイルス感染症と向き合いながら、今後も介護保険制度の見直しが進み、福祉のあり方が大きく動く中で、私共の運営する老人ホーム、デイサービスなどのサービス充実に取り組みしてまいります。

私たちは、基本理念に基づき、自らよく学び、より良いサービスをご提案する、そのような法人でありたいと考えております。真盛園の基本理念は、上記に掲げる「恵まれた自然環境の下での健康保持」などの3か条であり、この理念を具現化するために何が必要なのかをスタッフと共に日々研さんしてまいります。

介護保険制度導入によって、特別養護老人ホームの在り方、そしてそこで行われる介護に対する考え方も「措置における介護」という考えから「利用者」と施設による契約のもとに行われる「介護」に変わつてきました。高齢になつて豊かな暮らしを送るためにはならない方が安心して豊かな暮らしを送るために、特別養護老人ホームや短期入所介護など8の事業を展開しております。

その一つ一つの事業を大切にしながら、法人の掲げる理念に沿つてこれからの職員一同力を合わせ、皆様からより信頼していただける施設を目指し歩んでまいりますので、今後ともご支援賜りようお願いいたします。



旧和顔の事務所前真盛園に移動してきたお地藏さんです。

訪問看護ステーション移転のお知らせ

このたび訪問看護ステーション「和顔」は大津市が施行する都市計画道路事業に伴い、令和4年4月1日より下記住所に移転することになりましたので、謹んでご案内を申し上げます。これを機にさらなる業務の充実を図り、皆様の信頼にお応えできるよう倍日の努力を重ねて参る所存でございます。何卒今後とも変わらぬご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

変更前



《居宅介護支援事業所》

変更後



変更前



《訪問看護ステーション「和顔」》

変更後



編集 後記

日ごと春めいてきて朝夕も過ごしやすくなつてきた・・・と感じるのは私だけではないのでしょうか。

今回のしんせい148号は先日発生したコロナウイルス感染症のクラスターのお詫びが大幅を占めております。皆様には多大なご迷惑とご心配をおかけして申し訳ございませんでした。お陰様で現在感染者はおらず、いつもの穏やかな生活に戻りつつあります。安心はまだまだできませんが、対策をしながら少しずつ前に進んでまいります。

そんな中、真盛園の事業所である訪問看護ステーション和顔が、京阪本駅の近くの事務所から移転してきました。居宅介護支援事業所の事務所の中に看護師3人の女性加わり、今まで以上に華やかで明るい仕事場になりました。今後とも相変わらぬご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

次回の広報誌には職員や利用者様の笑顔を中心にお知らせが出来る事、祈つてやみません。

広報委員



住所：滋賀県大津市坂本5丁目13番1号
電話番号：077-516-8877 FAX番号：077-577-1766
事業所番号：2560190163
業務開始日：令和4年4月1日
※電話番号、FAX番号、事業所番号に変更はございません
※当園が運営する居宅介護支援事業所と併設されます

令和4年1月の新型コロナ感染症クラスター発生についてのお詫び

令和4年3月

平素は、当園が行う事業へのご理解・ご協力いただき厚くお礼申し上げます。また、日頃より新型コロナウイルス感染症に対する感染症予防対策や感染防止対策への対応にご協力いただき重ねてお礼申し上げます。

さて、1月11日に施設入所者の新型コロナウイルス感染者が発生し、感染解除となる2月24日までの間、1カ半月近くにも及ぶ長期の感染対応となり、利用者様・ご家族様に多大なご迷惑をおかけいたしました。

法人内で感染拡大が止められず、特別養護老人ホーム真盛園・養護老人ホームにて結果 特養利用者様25名 SS利用者様3名 特養職員13名 養護利用者様15名 養護職員4名 合計60名と多数の感染者を出すこととなりました。

新型コロナウイルス感染症発症が分かった時点より、感染拡大抑止に対応すべく、利用者様の安全確保を最優先に考え、保健所と連携を図り対応を実施してはりましたが、感染拡大を抑えられず、このように多数の利用者様が感染し、感染されなかった利用者様も日常生活に制限がかかり、ご不便をおかけいたしました。また、法人に関わる全ての関係者・ご家族に多大なご迷惑・ご心配をおかけした事を心よりお詫び申し上げます。

今後、社会福祉法人真盛園として、以下の対策を行い、感染拡大を予防してまいります。

感染予防の為、オンライン研修が中心になっていた研修内容を改めて、感染予防に努めながら、少人数でのグループワークで感染発生したことを想定した研修を行い、感染発生時に1人1人の職員が考えて行動できるように感染症対応研修を行います。

感染発生時に感染拡大予防に大切になるゾーニング（危険・安全の空間分け）研修を各部署の責任者を中心に行い、感染発生時に迅速に対応できる職員を育成します。

新型コロナウイルスワクチン接種を嘱託医と協力して積極的に行います。

ホームページで現状を分かりやすく伝えられるように改善を行い、どの部署で感染が起こったのか？入院された方がいるのか？など、ご家族様、関係者様が感染状態を客観的に把握できるように変更いたします。

引き続き、当園では職員一同感染防止対策に努め、地域の皆様に安心して介護を受けていただけるよう努めてまいります。今後とも、感染拡大防止の対応にご理解とご協力を頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後に、ご家族皆様からの応援の言葉や近隣事業所からの温かいご支援とご協力を賜り、お礼と感謝を申し上げます。

特別養護老人ホーム 施設長 川橋忠之

新卒採用者を 迎えるにあたり

新年度4月1日に2名の新卒者が入職いたします。当法人にとつて、若い人材が入職しさらに活気ある施設になることは、とても嬉しいことです。入職を控える本人たちは、希望や不安を抱えていることと思えます。その希望に応えられるよう、また不安の軽減になるよう、職員一同で温かく迎え入れ指導をしていく所存でございます。この広報誌をお読みの方々が接する機会がございますましたら、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



出張料理シェフサービス

素敵な3人の方々が、たくさんの食材と素敵な食器を持参して、とても豪華な食事を作ってくださいました。フランス料理のレストランにタイムスリップしたように、お寺の坊が早変わり。利用者の皆さんは少しおしゃれをして、久しぶりの食事会に楽しそうでした。



久しぶりの 華道教室

間隔をあけて少人数で行う中、独り言もちらほら聞こえてきました。お正月らしいなあ、きれいだなあ、難しいなあ・・・などなど。マスクをしながらなのでひそひそ話にも聞こえます。少しの間落ち着いた空間で、穏やかな顔をされていました。



作品展

今年1年、行事が出来ませんでしたが、それぞれのチームで大作が完成しました。大きな虎は、下絵を描いてその上から色紙をちぎって張り付けています。今にも飛び出しそうな虎に驚くばかり。新年の願いを手作りの絵馬に書いたり、羽子板や花札は昔のお正月の遊びを思い出します。

今年こそコロナが収束しますようにと皆で願うばかり。



叡山中学寄贈

毎年なのですが、比叡山中学校のボランティア委員会の生徒さんたちが、雑巾を縫ってご寄贈してくださいました。箱の中に雑巾がぎゅっしり詰め込まれていて、きれいに並んでいます。昔ながらの雑巾に心温まるものがありました。ありがとうございました。

